

第1回 小児がん中央機関連絡会議

議事次第

日時：平成29年5月15日（月）

14:30-16:30

国立がん研究センター管理棟第1会議室

1. 開会挨拶

国立がん研究センター理事長 中釜 齊
国立成育医療研究センター理事長 五十嵐 隆

2. 議事

(1) 小児がん中央機関連絡会議の設置について

- ① 小児がん中央機関について
- ② 小児がん中央機関連絡会議の設置について

(2) 小児がん中央機関（診療支援、がん登録）の現状と課題について

- ① 診断支援 細胞・分子生物学的診断
- ② 診断支援 病理診断
- ③ 診断支援 画像診断
- ④ 院内がん登録情報の活用
- ⑤ 小児固形腫瘍観察と小児がん登録

(3) 今後の活動について

小児がん中央機関連絡会議メンバー

国立成育医療研究センター

松本公一（病院小児がんセンター）
清河信敬（病院小児血液・腫瘍研究部）
義岡孝子（病院病理診断部）
宮寄 治（病院放射線診療部 放射線診断科）
瀧本哲也（臨床研究開発センターデータ管理部 小児がん登録室）

国立がん研究センター

藤原康弘（企画戦略局、中央病院）
小川千登世（中央病院小児腫瘍科）
落合淳志（先端医療開発センター、研究所）、
市村幸一（研究所脳腫瘍連携研究分野）
若尾文彦（がん対策情報センター）
東 尚弘（がん対策情報センターがん登録センター）
平岡 伸介（がん対策情報センター病理コンサルテーション推進室、
中央病院病理・臨床検査科）
藤下真奈美（がん対策情報センターがん医療支援部）

オブザーバー

厚生労働省健康局がん・疾病対策課
丹藤がん対策推進官
河田補佐

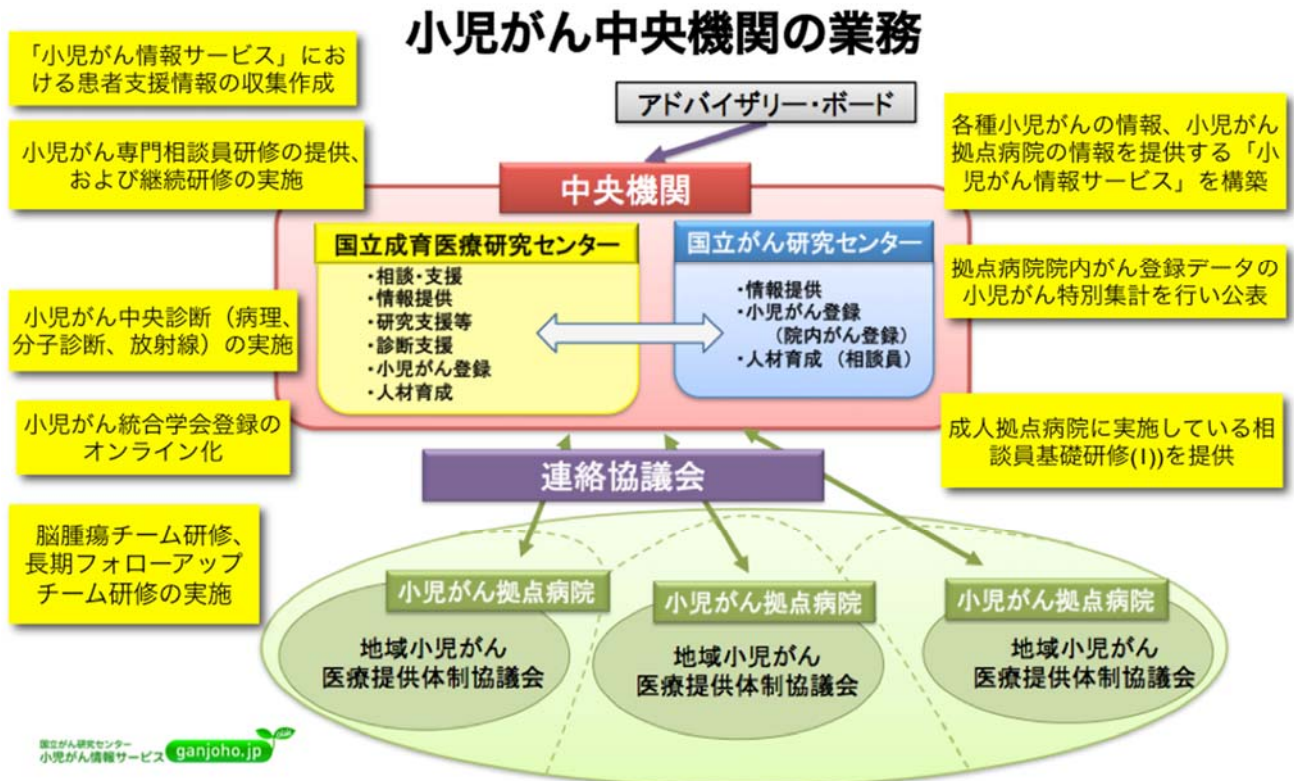
日本小児がん研究グループ（JCCG）

福澤正洋（JCCG 副理事長／固形腫瘍分科会）
堀部敬三（AMED 臨ゲノ、血液腫瘍担当）
水谷修紀（JCCG 理事長）

事務局 総務部 研究所事務係

小児がん中央機関連絡会議について

○背景



国立がん研究センターと国立成育医療研究センターは、平成 26 年 2 月 5 日小児がん中央機関に指定された。その後、センター間の話し合いにより、中央機関の機能のうち、国立がん研究センターで、情報提供、院内がん登録、相談員の人材育成を担当し、その他を国立成育医療研究センターが担うこととなった。

中央機関設置後、3 年が経過し、研究支援、診断支援として中央診断が行われ、今後の連携強化により、さらなる研究開発の促進につながるものと考えられる。

一方、小児がん登録などに関しては、依然として十分なものではなく、関係者の検討を推進させ、体制を整備することが求められる。

○対応案

国がん・成育との共同作業を具体的に進めるために担当者を定め、検討の場を設置する。

具体的には

- 1) 国立がん研究センターと国立成育医療研究センターで担当する小児がん中央機関を円滑に運営するために、両機関の担当者による連絡会議を設置し、定期的に意見交換を行う。
- 2) 厚生労働省健康局がん・疾病対策課と共に対応の検討を行う。さらに、両施設間での意見調整を行った上で、日本小児がん研究グループ (JCCG)、小児血液・がん学会等を含めて検討する場を設ける。
- 3) 構成メンバー
 - (ア) 国立がん研究センター小児がん中央機関連絡会議メンバー
 - ① 企画戦略局
 - ② がん対策情報センター

③ 中央病院小児腫瘍科

④ 研究所

○事務局 総務部 研究所（がん対策情報センター）事務係

(イ) 国立成育医療研究センター小児がん中央機関連絡会議メンバー

① 小児がんセンター

② 研究医療課

③ 病院のその他がん関連部門（病理診断部、放射線部、医療連携・患者相談支援センター）

④ 研究所がん関連部門（小児血液・腫瘍研究部）

⑤ 臨床研究開発センターがん関連部門（データ管理部小児がん登録室）

(ウ) オブザーバー 厚生労働省健康局がん・疾病対策課

(エ) オブザーバー（今後の協議で決定）日本小児がん研究グループ（JCCG）、日本小児血液・がん学会

4) 審議内容、必要により適宜

(ア) 診断支援・研究支援

(イ) 小児がん登録

(ウ) 相談・支援

(エ) 情報提供